


証券コード5471

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

第98期第2四半期 (中間)報告書

(2021年4月 1日から)
(2021年9月30日まで)

 **大同特殊鋼株式会社**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第98期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業の状況等につきましてご報告申し上げます。

事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や一部に弱さが見られるものの鉱工業生産に持ち直しの動きがあり、回復基調となっています。今後は、ワクチン接種の促進や各種政策の効果、海外経済の改善によりさらなる景気回復が期待されますが、東南アジアにおけるサプライチェーン寸断の影響による下振れリスクや新型コロナウイルス感染症の動向など、先行きについては注視する必要があります。

このような経済環境の中、特殊鋼の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した前年から大きく回復しました。主要需要先である自動車関連の受注は、グローバルでの堅調な自動車需要を背景に回復していますが、足元では部品不足による生産調整で回復のペースが鈍化しています。産業機械関連の受注は、国内外の景気回復にともなう底堅い需要により、堅調に推移しました。また半導体関連は、5G(第5世代移動通信システム)やデータセンター、車載向けなど幅広い需要が堅調に拡大し、受注は高位で推移しました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で増加しました。一方、主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需給のタイト化および国際価格の上昇により、前年同期比で高騰しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比757億34百万円増収の2,552億24百万円、経常利益は前年同期比226億69百万円増益の205億56百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比151億58百万円増益の128億40百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき80円とさせていただきます。

なお、通期(2022年3月期)の連結業績予想につきましては、次のとおりです。

2022年3月期の連結業績予想

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2022年3月期予想 (2021年10月28日発表)	520,000	31,000	33,000	22,000
(ご参考) 2021年3月期実績	412,722	10,070	12,642	4,516

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注増加を受け、前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車関連需要を中心に各業態で受注が高位となり、前年同期比で数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需給のタイト化および国際価格の上昇により、前年同期比で高騰しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材部門の売上高は、売上数量の増加により前年同期比55.7%増加の931億68百万円、営業利益は、前年同期比44億26百万円増益の14億41百万円となりました。

機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車関連や産業機械向けの受注増加に加え、半導体関連の受注も高位で推移したことで、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、自動車関連および半導体関連の需要増加により、粉末製品は、自動車関連を中心とした需要の増加により、売上高は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料部門の売上高は、売上数量の増加により前年同期比46.2%増加の947億56百万円、営業利益は前年同期比117億45百万円増益の139億21百万円となりました。

自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品・型鍛造品は、自動車生産の増加を受け、精密鍛造品は、自動車生産の増加によりターボ関連製品の需要が増加し、それぞれ売上高は前年同期比で増加しました。自由鍛造品は、航空機需要が調整継続しているものの、半導体関連や重電需要が好調に推移し、売上高は前年同期

比で増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、売上数量の増加により前年同期比29.0%増加の465億21百万円、営業利益は前年同期比72億23百万円増益の31億27百万円となりました。

エンジニアリング

メンテナンス事業は緩やかな回復基調にあるものの、自動車部品向け熱処理炉を中心とした受注減少により、当第2四半期連結累計期間におけるエンジニアリング部門の売上高は、前年同期比14.9%減少の87億32百万円、営業損益は前年同期比11億99百万円減益の7億9百万円の損失となりました。

流通・サービス

当第2四半期連結累計期間における流通・サービス部門の売上高は、前年同期比41.2%増加の120億47百万円、営業利益は前年同期比5億10百万円増益の13億87百万円となりました。

当社グループのセグメント別売上高

セグメント区分	第97期上半期 (2020/4-9)		第97期下半期 (2020/10-2021/3)		第98期上半期 (2021/4-9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
特殊鋼鋼材	59,834	33.3	86,007	36.8	93,168	36.6
機能材料・ 磁性材料	64,806	36.1	84,614	36.3	94,756	37.1
自動車部品・ 産業機械部品	36,050	20.1	44,699	19.2	46,521	18.2
エンジニアリング	10,265	5.7	9,939	4.3	8,732	3.4
流通・サービス	8,533	4.8	7,970	3.4	12,047	4.7
合計	179,490	100.0	233,232	100.0	255,224	100.0

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン普及により、徐々に正常化に向かうことが期待されますが、変異種の流行による感染の再拡大など、先行きについては依然として不透明な状況にあります。当社の主要需要先である自動車関連

の受注は、半導体不足に加え、東南アジアでのサプライチェーン寸断により、足元では調整局面となっております。同様に産業機械の受注についても、サプライチェーン寸断にともなう下振れリスクが懸念されるため、今後の動向について注視する必要があります。また鉄スクラップや各種資材価格の上昇、原油などのエネルギーコストの上昇も、利益面でのリスク要因として認識しており、販売価格への転嫁をすみやかに進めてまいります。

他方、中長期的な視点では、世界規模での地球温暖化抑制への取り組みが本格化しており、CO₂排出量削減を目的とした社会構造の転換が進展しております。当社の主要需要先である自動車産業においては電動化が加速し、内燃機関自動車は2020年代半ばにピークアウトすることが想定されます。

また、化石燃料からグリーンエネルギーへのシフトにより、洋上風力や水素が新たなエネルギー源として注目されています。情報通信などデジタル化を支える半導体産業は、デジタル革命の加速により、今後も持続的な成長が見込まれます。

当社を取り巻く外部環境が目まぐるしく変化するなかでも、経営理念である「素材の可能性を追求し、人と社会を支え続ける」を実現するため、2021年6月に、2030年のありたい姿および2023年度（2024年3月期）までの3年間を実行期間とする2023中期経営計画を策定しております。その概要については以下のとおりです。

〈2030年のありたい姿〉

今回2030年のありたい姿として[高機能特殊鋼を極め、「グリーン社会の実現」に貢献する]を策定しております。当社グループは、これまで機能性に優れた素材でお客様の技術革新を支えてまいりました。この方針に変更はありませんが、これからの外部環境変化に適応するため、事業の強靱化を進め、環境変化への耐性を強化するとともに、高機能特殊鋼を極めることにより新しい社会ニーズに応えることで、グリーン社会の実現に貢献してまいります。

〈2023中期経営計画〉

中長期では温暖化抑制などにより経営環境は大きく変化するものの、今後3年間においては内燃機関向け製品の数量減少などの環境変化は限定的と認識しております。2023中期経営計画では、2020中期経営計画の行動方針を深化させつつ、2030年のありたい姿を具現化するため、将来の環境変化に備えた事業活動を推進してまいります。

(1) 成長分野のビジネス拡大(将来を見据えた種まき)

今後の成長市場である、CASE(*) (自動車)、半導体関連製品、グリーンエネルギー分野の需要を捕捉するための取り組みを強化します。CASE 関連においては、高周速対応減速機用歯車など特殊鋼鋼材については、これまでの高品質歯車用鋼の製造技術に関する知見に加え、特殊表面処理技術を組み合わせることにより、さらに信頼性の高いソリューションを提供していきます。また、主機・補機・センサ用磁石については、中津川先進磁性材料開発センターの最大活用により主機モータ用特殊配向磁石に加え、特徴あるセンサ用及び補機用ボンド磁石で新たな需要を捕捉していきます。

通信・情報分野で一層の急成長が期待される半導体関連につきましても、グループの幅広い高機能製品群でそのニーズを確実に捉えていきます。

グリーンエネルギー分野においては、高温・高圧水素環境下で耐え得る対水素脆化用鋼の開発、工業炉用水素バーナーの実用化、洋上風力については長期信頼性の要求される増速機について、高纯净度鋼および高耐食材料でそのニーズに確実に応えていきます。

グリーンエネルギー分野、半導体関連製品においては、それぞれの新市場におけるニーズの探索および当社グループが保有するシーズを幅広く捉え、今後の製品戦略・拡販活動へつなげていくため全社横断型ワーキンググループを設置します。

*CASE (Connected (コネクティッド)、Autonomous/Automated (自動化)、Shared (シェアリング)、Eletric (電動化))

(2) 事業体質の強靱化(2020中期経営計画の深化)

外部環境変化への耐性強化、既存事業のプレゼンス拡大を図るため、営業サイドでは適正マージンの確保やポートフォリオ改革により高限利品を拡大していきます。生産サイドでは2023中期経営計画において生産量の再拡大も視野に入れ、2020中期経営計画に実行した戦略投資の補完として知多工場の製鋼部門を中心に生産上方弾力性改善投資を実行します。また長期的な内燃機関向け特殊鋼の需要減少への対応として工場間生産集約、生産性向上、歩留向上等の損益分岐点引き下げに寄与する諸施策を今中期より実行し、生産効率向上およびコスト削減を進めていきます。また生産体制についても、人員の最適配置・適正化、DX推進による省工数・省人化を図り、労働生産性の向上を目指します。

(3) 海外展開拡大

東アジア市場を中心に海外での高機能ステンレス鋼、高合

金、工具鋼の売上拡大を目指します。

当社は当期、ティムケンスチール社の中国営業拠点である鉄姆肯鋼材(上海)有限公司の全持分を取得し、子会社化しました。本件を契機に、ティムケンスチール社との協業関係をさらに深化させ、中国市場向けのSBQ製品(Special Bar Quality)のさらなる拡販および高合金や特殊ステンレス鋼の販売力強化につなげていきます。

また、海外規格対応による欧米市場の開拓、インド市場ではサンフラッグ社とのアライアンス活用など、各地域での販売強化に向けた取り組みを加速します。

(4) ESG経営の推進

持続可能な経営に向け、ESG経営を推進します。

環境面では、2030年度でのCO₂排出量を2013年度対比で50%の削減を目指します。当社は2050年でのカーボンニュートラル実現を目指し、「Daido Carbon Neutral Challenge」を策定しましたが、その過程である2030年においては、自社・既存省エネ技術の全面展開、CO₂フリー電源への切り替えにより、CO₂排出量削減を推進します。加えて、経団連と連携して脱炭素社会の構築に向けた「チャレンジ・ゼロ」のプロジェクト活動も推し進めることで、鉄鋼業界全体のCO₂削減にチャレンジしてまいります。

社会面では、経済産業省および東京証券取引所が選定する「健康経営銘柄2021」に初めて認定されました。引き続き健康経営やダイバーシティの推進など、これまでの取り組みを深化させ、従業員を始めとした各ステークホルダーからの信頼性確保に努めてまいります。

ガバナンス面では、今年度において買収防衛策の非継続を決議しました。今後、経営の自己規律性をさらに高め、株主の皆様との対話強化を図ってまいります。政策保有株式につきましては、今中期経営計画期間において政策保有株式の金額を純資産の20%以下まで縮減し、資本効率の向上に努めてまいります。またグループ経営の強化、取締役会の体制見直しを図り、コーポレート・ガバナンスの強化を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 石黒 武

四半期連結貸借対照表 (2021年9月30日現在)

当第2四半期連結会計期間末

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	343,668	流 動 負 債	196,843
現金及び預金	57,262	支払手形及び買掛金	47,083
受取手形、売掛金及び契約資産	115,317	電子記録債務	13,611
電子記録債権	19,581	短期借入金	84,343
棚卸資産	144,108	コマーシャル・ペーパー	15,000
その他	7,482	1年内償還予定の社債	10,000
貸倒引当金	△84	未払法人税等	5,400
固 定 資 産	342,705	賞与引当金	6,682
有形固定資産	228,596	その他の引当金	815
建物及び構築物 (純額)	81,489	その他	13,906
機械装置及び運搬具 (純額)	98,613	固 定 負 債	136,931
その他 (純額)	48,493	社 債	25,000
無形固定資産	3,000	長期借入金	74,225
投資その他の資産	111,108	その他の引当金	4,176
投資有価証券	93,349	退職給付に係る負債	12,656
退職給付に係る資産	11,990	その他	20,872
その他	5,846	負 債 合 計	333,774
貸倒引当金	△76	(純資産の部)	
		株 主 資 本	292,220
		資 本 金	37,172
		資 本 剰 余 金	30,910
		利 益 剰 余 金	227,799
		自 己 株 式	△3,662
		その他の包括利益累計額	23,454
		その他有価証券評価差額金	24,954
		繰延ヘッジ損益	△22
		土地再評価差額金	657
		為替換算調整勘定	1,509
		退職給付に係る調整累計額	△3,645
		非支配株主持分	36,924
		純 資 産 合 計	352,599
資 産 合 計	686,373	負 債 純 資 産 合 計	686,373

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		255,224
売 上 原 価		209,209
売上総利益		46,015
販売費及び一般管理費		26,858
営業利益		19,156
営業外収益		
受 取 利 息	72	
受 取 配 当 金	1,019	
持分法による投資利益	395	
為 替 差 益	123	
雇 用 調 整 助 成 金	145	
そ の 他	858	2,615
営業外費用		
支 払 利 息	397	
固 定 資 産 除 却 損	277	
環 境 対 策 引 当 金 繰 入 額	40	
そ の 他	499	1,215
経常利益		20,556
特 別 損 失		
事 業 整 理 損	424	424
税金等調整前四半期純利益		20,132
法人税、住民税及び事業税	5,668	
法人税等調整額	△24	5,643
四半期純利益		14,488
非支配株主に帰属する四半期純利益		1,648
親会社株主に帰属する四半期純利益		12,840

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料 ●特殊鋼鋼材加工、流通 ●原材料販売 ●運輸、物流
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> ●ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料 ●磁材製品（OA・FA用モーター、自動車用メーター・センサー、計測機器用部品等） ●粉末製品（HEV用磁性粉末等） ●チタン材料製品（医療用チタン合金、形状記憶合金等） ●溶接用材料
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> ●型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品（自動車・ベアリング向け部品等） ●自由鍛造品（船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品） ●鋳鋼品（鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等） ●精密鋳造品（自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等） ●製材用帯鋸 ●エンジンバルブ ●圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備（排水・排ガス・廃棄物等の処理設備）、工作機械等 ●機械設備の保守管理
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ●ゴルフ場経営 ●分析事業

当社の主要な営業所および工場等

本 社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪市中央区 福岡市中央区
工 場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 知多第2 星崎 渋川 粉末 君津 王子	愛知県東海市 愛知県知多市 名古屋市南区 群馬県渋川市 名古屋市港区 千葉県君津市 東京都北区
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	技術開発研究所 中津川先進磁性材料開発センター	名古屋市南区 岐阜県中津川市

重要な子会社および関連会社の状況 (2021年9月30日現在)

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

①重要な子会社の状況

特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社 (名古屋市東区)	百万円 1,511	% 100.0	商事
大同DMソリューション株式会社 (大阪府大東市)	435	100.0	特殊鋼鋼材の加工および販売 金型および金型部品の製造および販売 鋼材および非鉄金属の熱処理および表面処理
大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市)	40	100.0	鋼材の精整作業
大同エコメット株式会社 (愛知県東海市)	30	100.0	当社および子会社等から発生する廃棄物のリサイクル 製鋼用原料・資材の製造および販売
DAIDO DMS(THAILAND)CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県)	百万BAHT 257	* 90.0	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園市)	百万NT\$ 138	* 73.4	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO DMS SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール国)	千S\$ 3,017	* 85.0	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO DMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア国セランゴール州)	千RM 7,980	* 89.6	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売

機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社 (大阪市中央区)	百万円 5,000	* % 42.9	ステンレス鋼線および金属繊維等の製造および販売
株式会社ガイドー電子 (岐阜県中津川市)	1,490	100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市)	297	* 92.6	特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売
日星精工株式会社 (名古屋市南区)	80	100.0	ネジおよびボルトの製造および販売
大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 21,000	* 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
Daido Shimomura Steel Manufacturing(Thailand)Co., Ltd. (タイ国チョンブリー県)	百万BAHT 430	* 100.0	特殊鋼の引抜製造および販売、倉庫事業
THAI SEISEN CO., LTD. (タイ国サムットプラカーン県)	320	* 100.0	ステンレス鋼線およびダイヤモンドダイスの製造および販売
下村特殊精鋼(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 7,200	* 65.6	特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売
大同磁石(広東)有限公司 (中国広東省)	5,600	* 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd. (タイ国アユタヤ県)	百万BAHT 140	* 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
ORIENTAL SHIMOMURA DRAWING(M) SDN. BHD. (マレーシア国ペナン州)	千RM 3,000	* 64.2	特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売

自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市)	百万円 3,018	* % 52.2	エンジンバルブ等の製造 および販売
株式会社大同キャスティングス (名古屋市港区)	2,215	100.0	鋳造品および特殊鋼管 材の製造および販売
日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市)	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村)	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市)	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整 および熱処理等の請負
大同精密工業株式会社 (東京都豊島区)	90	* 100.0	圧縮機部品、ターボ部品 およびカップリング等の 製造および販売
FUJI OOXZ MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ国グアナファト州)	百万MXN 396	* 100.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
Daido Steel (Thailand) Co., Ltd. (タイ国チョンブリー県)	百万BAHT 750	100.0	型鍛造品の製造および販売
PT. FUJI OOXZ INDONESIA (インドネシア国西ジャワ州)	億IDR 2,262	* 75.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
富士気門(広東)有限公司 (中国広東省)	百万元 64	* 100.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州)	千US\$ 26	100.0	型鍛造品の製造および販売

エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社 (名古屋市南区)	百万円 310	% 96.0	工作諸機械および各種機械の製造および販売 機械設備の保守、点検および修理
大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市南区)	50	100.0	灰溶融炉設備および下水 汚泥処理設備の運転 および保守業務請負
大同プラント工業株式会社 (名古屋市南区)	36	64.4	工業炉の設計、製作および販売 工業炉の保守、点検および修理

流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス (名古屋市南区)	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福利 厚生施設の管理運用 不動産・土木建設・保険・ 印刷事業等
株式会社大同分析リサーチ (名古屋市南区)	75	100.0	鉄鋼、製鋼、鋳物およびセ ラミックス等の分析・試験・ 調査業務の請負
株式会社大同ITソリューションズ (名古屋市東区)	45	100.0	情報通信機器によるシス テムの企画、設計、開発お よび保守運用受託

流通・サービス(つづき)

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
木曽駒高原観光開発株式会社 (長野県木曽郡木曽町)	百万円 10	* % 57.4	ゴルフ場の経営および 別荘地管理
有限会社タカクラ・ファンディング・コーポ レーションを営業者とする匿名組合 (東京都千代田区)	495 (出資金)	100.0	複合商業施設保有のための 匿名組合
鉄姆肯鋼材(上海)有限公司 (中国上海市)	千US\$ 5,000	* 100.0	商事
大同特殊鋼(上海)有限公司 (中国上海市)	3,880	* 100.0	商事
Daido Kogyo (Thailand) Co., Ltd. (タイ国バンコク)	百万BAHT 100	* 100.0	商事
Daido Steel (America) Inc. (米国イリノイ州)	US\$ 9	* 100.0	商事

②重要な関連会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
東北特殊鋼株式会社 (宮城県柴田郡村田町)	百万円 827	% 10.0	高級特殊鋼および加工製 品の製造および販売
理研製鋼株式会社 (東京都中央区)	485	45.4	特殊鋼二次製品、切削工 具および工作・産業機械 等の製造および販売
丸太運輸株式会社 (名古屋市瑞穂区)	100	41.3	運輸業、倉庫業、場内諸 作業の請負業および土木 建築請負業等
桜井興産株式会社 (名古屋市南区)	75	43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社 (東京都墨田区)	70	40.0	電気工事の設計施工および 自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社 (川崎市川崎区)	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および 運輸業

従業員の状況 (2021年9月30日現在)

①当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)
特殊鋼鋼材	3,467
機能材料・磁性材料	3,852
自動車部品・産業機械部品	3,408
エンジニアリング	640
流通・サービス	1,017
全社(共通)	453
合計	12,837

②当社の従業員数等

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
3,407	38.7	16.7

株式に関する事項 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	43,448,769株
株主数	16,213名

①大株主の状況

株主名	株式数(千株)	株式数比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	4,283	10.04
日本製鉄株式会社	3,100	7.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,401	5.63
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.86
株式会社みずほ銀行	1,577	3.69
日本発條株式会社	1,449	3.39
株式会社三菱UFJ銀行	1,405	3.29
本田技研工業株式会社	1,305	3.06
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
株式会社デンソー	800	1.87

自己株式は除いております。

②所有者別株式分布状況

所有者区分	株式数(千株)	株式数比率(%)
金融機関	18,747	43.1
国内法人	13,923	32.1
外国人	4,953	11.4
個人	4,617	10.6
自己株式	809	1.9
証券会社	397	0.9

取締役および監査役 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	嶋尾	正	
代表取締役社長	石黒	武	
代表取締役副社長	西村	司	
取締役	清水	哲也	
取締役	利光	一浩	
取締役	山下	敏明	
取締役	梶田	聡仁	
取締役	相馬	秀次	(社外取締役・独立役員)
取締役	山本	良一	(社外取締役・独立役員)
取締役	神保	睦子	(社外取締役・独立役員)
常勤監査役	志村	進	
常勤監査役	水谷	清	(社外監査役・独立役員)
監査役	松尾	憲治	(社外監査役・独立役員)

執行役員 (2021年9月30日現在)

社長執行役員	石黒	武*	常務執行役員	鹿嶋	忠幸
副社長執行役員	西村	司*	常務執行役員	岩田	龍司
常務執行役員	神谷	祐司	執行役員	石濱	辰哉
常務執行役員	竹鶴	隆昭	執行役員	杉江	郁夫
常務執行役員	清水	哲也*	執行役員	広瀬	尚史
常務執行役員	利光	一浩*	執行役員	中島	智之
常務執行役員	松井	宏司	執行役員	温品	昌泰
常務執行役員	山下	敏明*	執行役員	丹羽	哲也
常務執行役員	梶田	聡仁*	執行役員	松尾	宗義
常務執行役員	野口	祐二	執行役員	永谷	哲洋

(注) *印は、取締役を兼務する者を示します。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(https://www.daido.co.jp/)

株式についてのご案内

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 6月
- ・基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
中間配当金 9月30日
期末配当金 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
- ・郵便物の送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日・休日を除く)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- ・公告方法 電子公告 (当社ウェブサイトに掲載)
【アドレス】<https://www.daido.co.jp/koukoku/>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(お知らせ)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

株主様工場見学会につきまして、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止させていただきます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。